



Business
Services

レジリエンスの 維持

効果的な在宅勤務のための
ベストプラクティス



ニューノーマルへの適応

私たちは、次に起きる危機を予測することはできませんが、企業は、混乱がどのようなものであっても事業運営を確実に継続できるよう、堅固な危機管理計画を策定することができます。企業がニューノーマルに迅速に適応するための戦略を打ち出す中、在宅勤務および在宅勤務者間の効果的なコラボレーションが重要な懸念分野になっています。

リモートコラボレーションツールは、もはや従業員が時間を節約して移動費用を削減するための単なる代替手段として見なすことはできません。このツールは、従業員が危機の際に生産性を維持し、意思疎通を効果的に図ることができるようにするとともに、在宅勤務への長期的な移行など、ニューノーマルの中で変化する要件に企業が適応する上で不可欠になっています。

在宅勤務への移行で企業が直面する一般的な課題



短期間のうちに多数の労働者を対象に在宅勤務を実施する必要性



世界中の複数の場所で多数のユーザーのためにバーチャルイベントを開催



一貫性のないオフィス体験と、ビジネスに不可欠なアプリへのアクセスが不十分なことにより、生産性が損なわれる可能性



リモートコラボレーションに関連するプライバシーとセキュリティの懸念



多数の在宅勤務者と多種多様な接続デバイスからの企業リソースへの安全なアクセスの確保

従業員の**41%**は、新型コロナウイルスのパンデミック収束後も、少なくとも勤務時間の一部は在宅勤務を行う可能性が高い([Gartner HR Survey](#))



効果的な在宅勤務のための3つのヒント

標準的なオフィス運営から在宅勤務態勢に迅速かつシームレスに移行するには、以下を行う必要があります。



1

適切なリモートコラボレーションツールを提供することで、労働者のエンパワーメントを実現



従業員がどこからでも業務を行って効果的に協働するための適切なツールを確保



使用しているコラボレーションツールに、デバイスの種類や従業員の所在地にかかわらず、自宅環境から容易にアクセスできる組み込みのオーディオ、ウェブ会議、コンテンツ共有の機能が搭載されているかどうかを確認



ネイティブでセキュリティが高く、既存のツールやインフラストラクチャと容易に統合でき、社内・社外のやり取りと協働が可能なビデオ会議プラットフォームを採用

2

企業リソースに容易かつ安全にアクセスする方法を従業員に提供



在宅勤務者が企業データとシステムに安全な方法で接続できるようVPNを構築すると同時に、必要に応じて多数のユーザーのために帯域幅とリモートアクセスライセンスの規模を拡大



ITシステムへの安全なリモートアクセスを維持し、各従業員の役職とアクセス権限に基づいて企業リソースへのアクセスを適切に管理

3

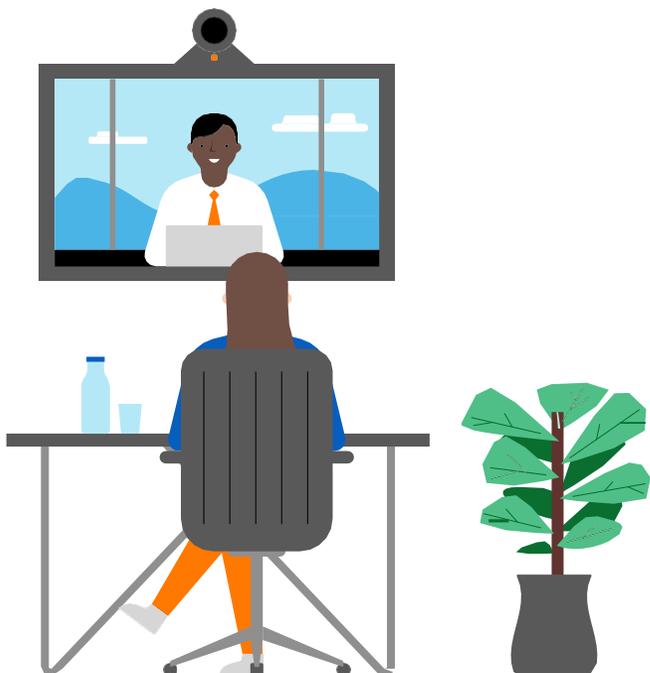
セキュリティの高い方法で在宅勤務者を接続・保護



多数の従業員が在宅勤務を行うようになると、組織のリスク状況が悪化して攻撃対象領域が拡大し、管理すべきエンドポイントが増加する可能性があるため、セキュリティ対策を常に評価し、潜在的な抜け穴に対処



従業員にサイバー攻撃のリスクに関する最新情報を常に提供し、安全な在宅勤務のためのベストプラクティスを伝達



Orangeによる 支援方法

在宅勤務制度を展開する場合や、在宅勤務者をセキュリティの高い方法で接続する場合にOrangeが提供する支援



リモートコラボレーションソリューションを自信を持って展開



安全なリモートアクセスを確立



ネットワークとリモートアクセスの容量を最適化

具体的なニーズを特定して適切なコラボレーションツールとプラットフォームを統合し、在宅勤務を容易かつ効果的に行えるよう分散型チームを支援します。

Orangeのデジタルサービスは、諸経費を大幅に増やすことなく、事業運営の規模を迅速に拡大するのに役立ちます。電話通信、コラボレーションツール、ウェブ会議ソリューションを含むエンタープライズグレードの包括的な通信サービスを提供し、シームレスなコラボレーションを実現するだけでなく、世界中の複数のロケーションにわたる、オンラインでのバーチャルイベントの開催もサポートします。

セキュリティを危険にさらすことなく、在宅勤務者のためにVPN接続の規模を拡大します。Orangeの安全なリモートアクセスSSL VPNソリューションを利用すると、ユーザアクセスを適切に管理すると同時に、オフィスでの勤務と同様、企業システムへの容易なアクセスを従業員に提供できます。

在宅勤務を行う従業員が増えるにつれて、従業員のデバイスをリモート管理できることがITにとって極めて重要になります。ツール類は、ITチームが従業員のソフトウェアをアップグレードし、ステータスをモニタリングし、問題のトラブルシューティングを行って、企業がレジリエンスを備えることができるよう、ユーザが在宅勤務をどのように行っているかを完全に理解するのに役立ちます。

Orangeは、顧客会社がグローバルな音声およびデータネットワークを最適化し、世界中の従業員が円滑な在宅勤務を実現できるようサポートします。

デジタル成熟度と機敏さにより、世界中で比類のない音声通話サービス(SIPTランク、コレクトコール、地域音声通話を含む)を提供すると同時に、規制上の複雑性を管理します。これらの能力は、顧客会社が在宅勤務者の大幅な増加のために規模を迅速に拡大することに加え、従業員の自宅近辺のトラフィックを解放することにより、ネットワーク容量にかかる圧力の軽減に役立ちます。

政府機関は在宅勤務者を 接続状態に維持

ある政府機関は、職員に在宅勤務させることに不慣れでしたが、パンデミックが発生したため、在宅勤務の態勢を迅速に整える必要が生じました。

この機関は、使い方が簡単で迅速に配備できるビデオコラボレーションツールが必要だったため、Zoomを選択しました。政府機関にとって最も重要だったのは、セキュリティでした。この組織は、Zoomが公共のサーバー経由でアクセスされず、組織のオンプレミスのインフラストラクチャに統合されるようにする必要がありました。

Orangeが安全な方法でコラボレーションを実現

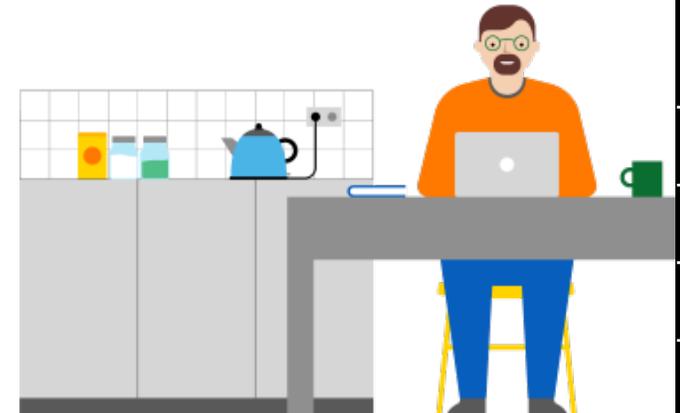
Orangeは、信頼されるZoomパートナーとして、必要なシステムインテグレーションとボイスコラボレーションの技術、およびセキュリティに関する専門知識を用いて支援しました。また、顧客のオフィスに設置された専用サーバーを経由して安全なプラットフォーム上で顧客と作業を行い、70人の従業員に堅固なソリューションを迅速に配備しました。

zoom

70 → 2,000 

この政府機関はパフォーマンスと生産性の高い結果に満足し、現在、Orange-Zoomソリューションを2,000人の在宅勤務者に配備する可能性について検討しています。

在宅勤務により
もたらされる
レジリエンス。



70

Orangeは、コミュニケーションを継続し、コラボレーションとミーティングを実行できるよう、70人の在宅勤務者にZoomを迅速に配備



鉱業会社がロックダウン中に 年次総会を開催

危機の際は、意思決定を可能にするために、会社の利害関係者と経営陣の間のコミュニケーションを維持することが必要不可欠です。

長年にわたりOrangeの顧客で、効率的なITチームを擁する同社は、年次総会をバーチャルで開催することを決め、その運營業務全体をOrangeに依頼しました。同社は、複雑なデュアルチャネルの音声ストリーミングを組み込むことができるサービスを必要としていました。バーチャル年次総会は英語でストリーミングされ、別個のダイヤルイン番号で標準中国語の翻訳がリアルタイムで提供されます。さらに、利害関係者がVPN経由でダイヤルインせずに、簡単かつ安全な方法でバーチャル年次総会にアクセスできるようにする必要がありました。

Orangeが管理されたバーチャル年次総会イベントを実現

OrangeはPGiと協力し、スケーラブルなクラウドベースの音声および動画プラットフォームで、ネットワークの中断を生じさせることなくあらゆるデバイスやブラウザからHDでライブイベントをストリーミングするGlobalMeet Webcastを提供しました。

- ホスト、プレゼンターおよび参加者はワンクリックのエントリーユーザ番号を使用
- 高度なユーザ認証によりシステムが安全であることを確認



単なるプラットフォームを超越 – Orangeは過去に例のない短期間でプラスの成果を実現

Orangeは、株主と経営陣との間の効果的なコラボレーションをバーチャルで実現



4

招待状をわずか4日間のうちに発送する必要があったため、Orangeは株主が登録を行うための、カスタマイズされたランディングページを短時間で作成

多国籍製造企業が生産性を維持するために在宅勤務を強化

このOrange顧客は、原子力発電、化学、医薬品業界向けの重要部品を製造しています。COVID-19のまん延中も事業の継続維持が必要不可欠でした。

同社はカスタマサービスを中断させずにパンデミックに対応するには、以下を実行する必要がありました。



数万人の知識労働者を在宅勤務に移行



アクティブディレクトリ(AD)サーバーをシャットダウンさせたセキュリティの緊急事態を管理



主要なボイスおよびUCデプロイメントを計画どおり続行

短期間で在宅勤務を実現

Orangeは、在宅勤務を実現するためにSSLライセンスを増強し、増加するリモートアクセスに対応しなければなりません。ロックダウンを開始する国が増える中で、Orangeは、データセンターの帯域幅を増強し、SSL VPN接続に対応して、あらゆるデバイスからビジネスアプリケーションへの安全なアクセスのための容量需要を満たしました。

リモートユーザライセンスは、数百人分から数千人分に増強されましたが、これは顧客と世界各地のOrangeチームとの間の複雑な調整作業によって成されました。

数百人 → 数千人



パンデミックの規模が拡大するにつれてリモートユーザ数も増加

データセンターの帯域幅を増強し、SSL VPN接続に対応して、あらゆるデバイスからビジネスアプリケーションへの安全なアクセスのための容量需要に対処。



多国籍製造企業が生産性を維持するために在宅勤務を強化

在宅勤務への対応能力を増強すると同時にセキュリティ警告に対処

同社は、ADサーバーに影響を及ぼし、多数のユーザーのリモートアクセスを突然中断させた大規模なセキュリティ問題にも緊急に対処しなければなりません。Orangeは、Microsoft Azureクラウドサービスを介して多要素認証(MFA)を採用し、セキュリティを強化してユーザーが再び接続できるようにしました。この手法では通常、完了までに数日かかりますが、Orangeは、新しい認証プロセスをわずか24時間で稼働させました。

24時間



Orangeは、Microsoft Azureクラウドサービスを介してMFAを採用し、セキュリティを強化してユーザーを再接続させ、同社の生産性を維持

分散型チーム間の協働を実現

Orangeは、危機にあたって同社のリモートチームが協働作業を続行できるよう、クラウドベースの新しい生産性向上ツールであるCisco Webexのライセンスを迅速に増強しました。さらに、SIPトランキングやNumber Porting機能を含む、クラウド経由のユニファイドコミュニケーションのために、Orange Business Together as a Serviceへの移行を伴うボイスデプロイメントに取り組みました。



Orangeは、ニューノーマルの時代におけるこの製造企業のビジネスの中核を成す主要なボイスデプロイメントを計画どおり進捗

Orangeと顧客は「1つのチーム」として協力し合い、あらゆる障害を乗り越えて、顧客会社の不可欠なシステムのレジリエンスの維持と機能継続を実現



在宅勤務に必要なデジタルサービスを確実に提供

オレンジビジネスサービス(Orange Business Services)の中核を成す事業は、協調作業空間ソリューションのほか、音声、動画およびウェブ会議サービスなどです。現在、従業員がデータをリモートで交換・共有し、顧客と絶えずコミュニケーションをとる必要がある組織にとって、これらのサービスはかつてなく重要性が高まっています。

- **ネットワークエリア:** 世界220の国と地域でシームレスな音声およびデータネットワークを展開し、70か所のデータセンターを運営して、変化する在宅勤務の要件を満たすために必要な容量を提供
- **比類ない音声通信エリア:** SIPトランクを164か国、DID番号を46か国、国内通話を28か国で提供し、会議を実施する際のあらゆるニーズに応じて運営を簡素化し、コストを最適化するサポートを提供
- **セキュリティ:** Orangeの10か所のCyberSOC施設と16か所のSOC施設は世界各地に配置されており、脅威分析分野で一流の専門知識を提供し、脅威のライフサイクル全体を通じて顧客会社のビジネスを保護
- **カスタマサービス:** 様々な大陸に位置する5か所のMajor Service Center(MSC)を運営し、年中無休のサポートを提供



Gartner®

オレンジビジネスサービス(Orange Business Services)は「Critical Capabilities for Unified Communications as a Service, Global」の5件の企業使用事例中3件で最高位

- UC要件が中程度の企業の製品またはサービスのスコア
- UC要件が多数ある企業の製品またはサービスのスコア
- 多国籍のUC要件がある企業の製品またはサービスのスコア

* ISG®

オレンジビジネスサービス(Orange Business Services)は「ISG Provider Lens™ Digital Workplace of the Future – Unified Communications as a Service (UCaaS)」で「リーダー」に選出

ISGによると、「オレンジビジネスサービス(Orange Business Services)は、その一部を成すBusiness Together as a Serviceで大規模なUCaaSアカウントを獲得した折り紙付きの実績があります。中規模の企業と大企業に適しており、グローバルなUCaaSサポートを提供します。Orangeは中南米、中東、アフリカの顧客にサービスを提供することも可能です。」

世界中の組織が在宅勤務に取り組み、ビジネスレジリエンスを生み出すことを支援してきた確かな実績



柔軟性と
機敏さ

Orangeの広範なデジタルエンタープライズ・ボイスソリューションにより、国際電話番号の迅速な発注、設定、増強や、臨時オフィス用回線のセットアップを行って、予期せず生じたニーズへの対応が可能(例:緊急事態の際、災害救済機関がヘルプラインを公開)。



ベンダーに
依存しない

ベンダーに依存しないプロバイダとして、Cisco、Microsoft、PGI、Zoomなどの大手テクノロジー企業の最善のソリューションを提供し、マルチベンダーソリューションを実現。シームレスなユーザ体験のために音声、動画およびデータを網羅するエンドツーエンドのサービスサポートを提供。



グローバルな
インテグレーション
と現地サポート

グローバル規模でエンドツーエンドのリモートコラボレーション、電話通信、セキュリティ、および接続性ソリューションを統合して完全に管理する支援を行い、現地にて国内サポートサービスを提供。



ユーザアダプショ
ンサービス

全従業員向けの研修のために専門的なコンサルタントを派遣し、コラボレーションツールとサービスの採用が確実に成功するようサポート。



カスタマイズされた
請求処理

顧客のニーズに最適な請求方法を選択できる柔軟性を提供。希望されるコスト管理方法に基づいて、現地請求または一元化請求が選択可。



Orange = ネットワークネイティブ のデジタルサービス会社

Orangeは、3,000社を超える国際的レベルのMNC顧客を擁しており、その大多数はAPACで当社のサービスを利用されています。

効果的なリモートコラボレーションを実現する方法について関心をお持ちですか？ [こちら](#)からOrangeの専門家にご連絡いただき、オレンジビジネスサービス(Orange Business Services)に関する詳細をご確認ください。

ビジネスレジリエンスを高めるための5つの戦略については、[こちら](#)をご覧ください。ICTインフラストラクチャを最適化するためのベストプラクティスについては、[こちら](#)をご覧ください。

